

令和4年6月定例会

市議会だより



▲令和2年7月豪雨災害八代市追悼式

令和4年6月定例会 会期日程

6月 6日(月)	本会議／開会
6月14日(火)	本会議／質疑・一般質問
17日(金)	
20日(月)	令和2年7月豪雨に関する 特別委員会
21日(火)	文教福祉委員会 建設環境委員会
22日(水)	経済企業委員会 総務委員会
27日(月)	本会議／討論・採決

目次

- 予算／条例制定・改正… 2～5
- 質疑・一般質問 …… 6～12
- 委員長報告他 …… 12～14
- 採決結果 …… 15
- 編集後記 …… 16

編集・文責／八代市議会広報委員会

6月定例会は、6月6日から6月27日まで開催され、条例議案6件、予算議案2件、その他13件を審議しました。主な議案は、次のとおりです。

条例制定・改正など

(主なものを抜粋して掲載)

可決

八代市市税条例等の一部を改正する条例について

地方税法等の一部改正に伴う上場株式等の配当所得等に係る課税方式の変更、住宅借入金等特別税額控除の期間延長及び見直し、土地に係る固定資産税の負担調整措置等に関する八代市市税条例等の一部改正したものの。

八代市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

地方税法施行令の一部改正に伴う国民健康保険税の基礎課税額に係る限度額の引上げ(63万円→65万円)、後期高齢者支援金等課税額に係る限度額の引上げ(19万円→20万円)に関する八代市国民健康保険税条例の一部改正したものの。

八代市介護保険条例の一部改正について

新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少したこと等による介護保険の第1号保険料の減免に対する財政支援が令和4年度分も継続することが決定されたことに伴い、減免の対象となる保険料について所要の改正を行うもの。(令和4年4月1日適用)

改正前	改正後
令和3年4月1日から令和4年3月31日までの間に納期限が定められている保険料	令和4年4月1日から令和5年3月31日までの間に納期限が定められている保険料

八代市消防団員の定員、任用、服務等に関する条例の一部改正について

消防庁が設置する「消防団員の処遇等に関する検討会」の報告を踏まえて発出された「消防団員の報酬等の基準の策定等について(消防庁長官通知)」により、出勤報酬が創設され、その基準が示されたことに伴い、非常勤の消防団員が水火災、訓練、搜索救助等の職務に従事した場合に支給する出勤報酬に関する規定の整備を行うもの。(令和4年4月1日適用)

水火災に係る出勤報酬(1日当たり)	2時間未満の出勤	2,000円
	2時間以上4時間未満の出勤	4,000円
	4時間以上7時間45分未満の出勤	6,000円
	7時間45分以上の出勤	8,000円
出初式、訓練その他別に定める職務に係る出勤報酬(1日当たり)	出勤時間にかかわらず、一律	1,800円

※職務の内容が山岳遭難に係る搜索救助であるときは、1回につき1,800円(2時間を超える場合は、3回を限度として2時間ごとに1,800円を加算)



予
算

3月補正予算 (3月31日専決分)	12億1,870万円
5月補正予算 (5月20日専決分)	8億8,430万円
6月補正予算	20億2,890万円
6月補正予算 (6月17日追加分)	4,690万円

可
決

(主な新規事業を抜粋して掲載)

新型コロナウイルス感染症対策事業

子育て世帯への生活支援特別給付金給付事業

1億8,860万4千円

新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、国から示された緊急支援策の1つとして、低所得の子育て世帯への「子育て世帯生活支援特別給付金」を支給する経費について補正するもの。

【支給額】対象の子ども一人当たり5万円

【支給対象者】

(ひとり親世帯)

- ① 令和4年4月分の児童扶養手当を受給する者
- ② 公的年金等を受けていることにより令和4年4月分の児童扶養手当の支給を受けない者
- ③ 新型コロナウイルス感染症の影響を受けて家計が急変するなど収入が児童扶養手当の受給者と同様の水準となっている者

(その他の子育て世帯)

- ① 令和4年4月分の児童手当又は特別児童扶養手当の受給者であって、令和4年度の住民税均等割が非課税である者
- ② ①のほか、対象児童(18歳年度末までの子(障害児については20歳未満)※)の養育者であって、以下の所得要件いずれかに該当する者

〈※令和4年4月以降令和5年2月末までに生まれる新生児も対象〉

【所得要件】・令和4年度分の住民税均等割が非課税である者

・新型コロナウイルス感染症の影響を受けて家計が急変し、令和4年度分の住民税均等割が非課税である者と同様の事情にあると認められる者

【補正額】 事務費：360万4千円

給付費：1億8,500万円(3,700人×5万円)



農林漁業所得減少対策

2億1,405万5千円

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う資材の高騰等により、経費が増加し、農林漁業所得が減少した農林漁業者に対して経営の安定を図るため支援を行うもの。

【対象】：個人 令和3年の所得がマイナス10万円以上。または、平成29年から令和元年の平均の所得と比較して、令和3年の所得が10万円以上減少していること。

法人 令和4年3月期以前の直近の決算における農林漁業所得がマイナス20万円以上。または、直近の決算における農林漁業所得が前3期の決算の平均と比較して、20万円以上減少していること。

【支援金額】：個人 10万円 法人 20万円

【補助額】：2億1,370万円 (個人 1億9,350万円、法人 2,020万円)

【事務費】：35万5千円 (郵便料)

学校給食費支援

4,800万円

コロナ禍における原油価格・物価高騰に直面する子育て世帯の生活支援を目的に、市立幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校の給食費の保護者負担額を軽減する経費について補正するもの。

保護者負担軽減額：一人当たり年間6,000円

対象者数8,000名×6,000円=4,800万円

デジタルプレミアム商品券

5億8,500万円

コロナ禍における原油価格・物価高騰に直面する市民や事業者の支援を目的に、「新しい生活様式」を取り入れた「デジタルプレミアム商品券」の発行に必要な経費を補正するもの。

○事業概要

【販売額】1口1,000円

【額面】1口1,400円（プレミアム率40%）

【申込上限】1人当たり上限10口

【発行総数】123万口（カード式（43万口）・スマートフォン式（80万口））

【対象者】令和4年7月1日現在 八代市住民基本台帳登録者

【使用期間】令和4年10月～令和5年1月

【使用可能店舗】「安心なまちやつしろプロジェクト」に登録し、本事業に希望する事業所

【商品券業務委託料】9,300万円

【商品券負担金】4億9,200万円（プレミアム分）

プレミアム商品券



施設園芸燃油価格高騰対策

1億5,011万3千円

コロナ禍における燃油価格高騰が続いていることから、燃油を使用する施設園芸農家の負担を軽減するため、燃油購入に係る経費の一部を補助するもの。

【対象経費】：令和3年9月1日から令和4年4月30日までに購入した燃油

【補助単価】：燃油1ℓ当たり5円

【補助額】：1億5,000万円



令和2年7月豪雨災害関連事業

すまいの安全確保支援事業

2億750万円

県の「豪雨被災者等支援交付金」を活用し、令和2年7月豪雨災害の被災者が行う、市内の災害リスクの低い場所への移転やピロティ化等の安全対策に関する費用の一部を補助するもの。

○すまいの安全確保支援事業補助金

・移転及び現位置再建でのピロティ化等の安全対策

【補助上限】300万円/件 ※坂本地区内は50万円上乗せの350万円/件

【補助額】坂本地区外：300万円×40件=1億2,000万円

坂本地区内：350万円×25件= 8,750万円

災害公営住宅整備事業

1億2,405万円

自立再建が難しいと考える被災者に安心・安全な住まいの提供を行うため、災害公営住宅（合志野地区）の建設工事に係る費用を補正するもの。

災害公営住宅（合志野地区）〈補助対象額：8,752万9千円〉

木造平屋建 2棟4戸（1LDK（49.6㎡）+2LDK（62.3㎡））

・工事監理業務委託150万円 ・建築工事費 1億2,215万6千円

・電柱移設補償金39万4千円

災害廃棄物処理事業

1億4,560万円

令和2年7月豪雨災害で被災した被災家屋の所有者支援のため、公費解体事業に要する経費を補正するもの。

【事業費】：1億4,560万円（解体件数：24件）

【申込期限】：令和4年10月31日

【解体完了】：令和4年12月28日



八代市重点戦略関連事業

強い農業づくり支援事業

1億1,244万5千円

「強い農業・担い手づくり総合支援交付金」を活用し、地域農業において中心的な役割を果たしている農業者団体・農業法人等による共同利用施設等の整備に要する経費の一部を補助するもの。

【事業実施主体】：R4屋根型ハウス生産管理組合

【事業内容】：低コスト耐候性屋根型ハウス（4棟）整備

【作物】：トマト

【総事業費】：2億4,737万9千円

【補助対象額】：2億2,489万円

【補助金額】：1億1,244万5千円（補助率1/2以内）

攻めの園芸生産対策事業

1,611万9千円

「攻めの園芸生産対策事業費補助金」を活用し、品質向上、生産力向上、コスト低減等に資する機械の導入に要する経費の一部を補助するもの。

アウトドアツーリズム推進事業

1,000万円

芦北町、氷川町と広域連携し、アフターコロナを見据え、圏域内の自然を活かしたアウトドアツーリズムの振興に取り組むことで、関係人口創出を図るもの。令和4年度は、八代市内のアウトドアツーリズムに関する市場分析及び計画策定を実施するもの。

【地方創生推進交付金対象事業】

事業期間：令和4年～令和6年度

マーケティング・計画策定業務委託：1,000万円

質

疑

一

般

質

問



議案に対する質疑と市政の各般にわたる一般質問は、6月14日から17日の4日間、13人が通告・登壇し、幅広い活発な議論が展開されました。主な質問のあらましと答弁の要旨は、次のとおりです。

令和4年6月定例会 質疑・一般質問一覧（通告順）

1	大倉 裕一 議員 (改革市民の会)	<ol style="list-style-type: none"> 1 本市における景気対策について 2 本市の人口について 3 防災情報の運用及び令和2年7月豪雨からの災害復旧について 4 新庁舎におけるすこやかルーム内の畳の再発注について
2	上村 哲三 議員 (自由民主党 礎)	<ol style="list-style-type: none"> 1 大雨などの災害時における市区町村避難情報の発令について 2 自主運営避難所登録制度の創設について 3 令和2年7月豪雨災害に関する公費解体の追加申請受付について
3	山本 敬晃 議員 (改革市民の会)	<ol style="list-style-type: none"> 1 坂本校区「生活困りごと」アンケートについて 2 本市のヤングケアラーに関する取組について 3 若者サポートステーションやつしろに対する本市の関わりについて 4 中学生議会の取組について 5 生活道路の整備に係る予算について 6 新庁舎における喫煙所について
4	橋本 隆一 議員 (公明党)	<ol style="list-style-type: none"> 1 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（コロナ禍における原油価格・物価高騰対応分）について 2 中学生に対するピロリ菌検査の実施について 3 子宮頸がんワクチン接種の取組について 4 母子健康手帳アプリ導入について
5	中山 諭扶哉 議員 (保守系無所属)	<ol style="list-style-type: none"> 1 企業誘致について 2 日奈久地域の観光施策について 3 日奈久地域のインフラ整備について

令和4年6月定例会 質疑・一般質問一覧（通告順）

6	木村 博幸 議員 (自由民主党 和)	<ol style="list-style-type: none"> 1 SDGs 未来都市及び自治体SDGs モデル事業の選定について 2 八代港の利活用促進及び八代港グランドデザイン策定事業について 3 八代平野における鳥類被害について <ol style="list-style-type: none"> (1) 本市の被害状況、課題及び対策 (2) 本市における鳥獣被害対策実施隊（鳥班）に係る経費 4 八代市公民館（パトリア千丁）について <ol style="list-style-type: none"> (1) 愛称の使用 (2) ホールの運用
7	橋本 貴喜 議員 (自由民主党 絆)	<ol style="list-style-type: none"> 1 本市の行政分野におけるDXの取組について 2 八代産豊表のPR事業について
8	金子 昌平 議員 (自由民主党 礎)	<ol style="list-style-type: none"> 1 八代市デジタル化推進基本計画について 2 コロナ禍における本市の経済対策について 3 切れ目のない子育て支援に関するデジタル技術の活用について
9	橋本 徳一郎 議員 (日本共産党)	<ol style="list-style-type: none"> 1 坂本町復興のためのまちづくり及び球磨川流域治水対策に対する本市の取組について 2 本市の医療提供体制について 3 本市におけるSDGsの取組について
10	堀口 晃 議員 (保守系無所属)	<ol style="list-style-type: none"> 1 本市の景気回復及び経済対策について 2 SDGs 未来都市選定に至った経緯及び今後の取組について 3 平常時及び災害時におけるペットの救護対策に対する本市の対応について
11	野崎 伸也 議員 (改革市民の会)	<ol style="list-style-type: none"> 1 令和4年3月31日専決処分された基金の積立について 2 免許証返納特典の充実による高齢者ドライバー事故の撲滅について 3 エコイトやつしろの運営状況及びプラスチックごみ一括回収について 4 一般廃棄物収集運搬業許可制度について 5 TSMC進出に伴う本市の取組及び工業団地整備について 6 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会におけるホストタウン登録について
12	堀 徹男 議員 (誠実)	<ol style="list-style-type: none"> 1 本市の健診（検診）事業の取組について 2 本市の農業経営安定化対策について 3 資源物回収の現状について
13	谷口 徹 議員 (改革市民の会)	<ol style="list-style-type: none"> 1 本市の交通安全対策について 2 本市の公共交通について 3 ゼロカーボンシティ宣言について 4 本市職員の人材育成について



大倉 裕一



動画配信

◆本市の人口について

問 人口の減少は、購買総量が低下し市民所得の減少等、市民生活や経済等に影響を及ぼすものと認識している。

令和三年度版八代市統計年鑑による本市の人口は、平成十七年の市町村合併当初の十三万六千八百八十六人が、令和二年では、十二万三千六十七人と十五年間で一万三千八百十九人減少している。

市長は、本市の人口に関してどのような認識であり、重要課題との認識か伺う。

また、生産年齢人口がこの間、五千人減少していることへの認識と対策を問う。

答 市長

本市の人口減少の影響は、産業や雇用面の縮小、行政サービスの廃止や有料化、コミュニティの希薄化や地域の防犯力・防災力の機能低下、地域活動の縮小や地域への愛着の喪失など多岐にわたり、重要な課題と捉えている。また、生産年齢人口の減少は、労働力不足や経済の縮小を引き起こし、地域の活力が失われ、さらなる人口減少を招くといった悪循環に陥る可能性があり喫緊の課題である。

八代の未来を創る五つのビジョンをベースとした重点戦略に、スマートシティやつしろの推進や子育て環境の充実などを掲げ、様々な施策を総合的・効果的に実施する。



上村 哲三



動画配信

◆自主運営避難所登録制度の創設について

問 本年五月、坂本地区市政協力員の会議で自主運営避難所の登録制度の創設について説明されたと聞いている。これは、令和二年七月豪雨災害後の検証を基に、各地区での共助の取組を支援するものと思うが、創設に至った経緯や制度の概要を伺う。

また、坂本地区は山間部であり自治公民館集落も六十六地区が点在し、レッドゾーン、イエローゾーンも多く自主避難所の設定にはハードルの高さも懸念される。そこで、自主避難所の登録要件について伺う。

答 総務企画部長

自主運営避難所は、地震を除く災害が発生または発生するおそれがある場合に開設する。施設の立地要件として、土砂災害特別警戒区域、いわゆるレッドゾーン外に立地していることに加え、浸水想定区域内である場合には、垂直避難や建物外への避難経路が確立していることが必要である。

また、自主運営避難所の開設や運営、閉鎖などの詳細なルールについては、自治会等において、地域の実情に合わせて作成することとしており、そのルールづくりは、市の職員が支援する。

先行実施する坂本地区においては、申し出があった地区から、随時、説明会を開催している。



山本 敬晃



動画配信

◆若者サポートステーションやつしろに対する本市の関わりについて

問 若者サポートステーションやつしろ（通称・サポステ）については、以前の一般質問に対し認知度が低いとの答弁があった。そこで、サポステの来場者等の実績について伺う。

また、本市のサポステに対する支援や協力体制について伺う。

さらに、サポステと八代高校が連携してサポステの周知を図るポスターを作成していると聞いているが、その概要とそれに対する本市の連携について伺う。

答 経済文化交流部長

若者サポートステーションやつしろは、働くことに悩みを抱える十五歳から四十九歳までの方を対象とした国の就労支援機関である。

本市の関わりについては、地元企業の雇用確保及び若者の地元定着に繋がることから、市の公式ホームページやSNSを活用したサポステ事業の広報や市役所での事業パンフレット設置、企業への同行訪問、関係団体への協力依頼などを行っている。

昨年度はこの協力体制の下、地元企業への就職につながったケースもあり、引き続き連携をしながら、取組を進めていく。



橋本 隆一



動画配信

◆母子健康手帳アプリ導入について

問 厚生労働省においては、妊娠から出産、育児を記録する母子健康手帳を令和五年度に十年度ぶりにリニューアルするとの報道がなされた。

また、その際、国の検討会においても手帳の電子化については多くの委員が賛同している状況にある。

こういった社会的状況から、本市における母子健康手帳アプリ導入の認識と来年度の導入に向けた取組について伺う。

答 健康福祉部長

乳幼児健診や予防接種等の記録の管理、子どもの成長記録などの情報を、スマートフォンなどで簡単に登録・管理することができ母子健康手帳アプリは、利用者に対して適切な時期に、子育てに必要な情報を提供できるなどのメリットも多く、妊娠期から子育て期におけるICT等を活用した、新たなツールとして活用が期待できると認識している。

今後、国の動向に注視するとともに、子育て世代のニーズを把握し、アプリ開発の状況も踏まえながら、関係部署と課題等を整理し、来年度の導入に向けて準備していく予定である。



中山 諭扶哉



動画配信

◆企業誘致について

問 TSMCの進出は、大規模な企業誘致の絶好の機会であり、大きな経済効果が見込まれる。本市として工場等の誘致について方針を問う。

また、企業誘致用地として、加賀島の整備状況並びに進捗について伺う。

他市においては、山林地を工業団地として整備し、大規模工場などを誘致されている事例があると聞く。

本市は、交通や水道など魅力的なインフラを有しており、企業誘致に有利だと認識している。山林に誘致用地を整備する方針があるのか問う。

答 経済文化交流部長

御質問内容の誘致方針については現在策定しておらず、既存の構想である「やつしろ物流拠点構想」や「フードバレー八代基本戦略構想」に基づき企業誘致を行っている。

次に加賀島の整備状況については、令和三年度に港湾計画の一部変更が行われ、新たな岸壁の整備や工業用地エリアの拡大が位置づけられたところである。

今後は、計画の早期実現に向けた取組を進めていきたい。

また、現在市として山林を工業団地として整備する方針はないものの、工業団地整備については御紹介の事例も踏まえ、引き続き調査・研究を進めていきたい。



木村 博幸



動画配信

◆八代市公民館（パトリア千丁）について

問 平成二十九年四月に千丁町に八代市公民館が設置され現在に至るが、設置後五年を経てもどこにあるのか尋ねられる。また「八代市公民館」と言ってもまだ知らない市民も多い。

そこで、以前から親しまれてきた「パトリア千丁」を八代市公民館条例第二条、すなわち（名称と位置）に「愛称としてパトリア千丁」を加え、例えば「八代市公民館パトリア千丁」と呼ぶようにしたほうがどこにあるのか位置的にも分かりやすくなるが、本市の考えを教育部長に伺う。

答 教育部長

本市では、合併後新たに設置した施設について、市民の皆様親しみを持っていたことで利用を促進するため、愛称をつけた施設があるものの、その愛称を条例で規定した例はない。

また、八代市公民館は、特定の地域を対象とした公民館ではないため、パトリア千丁という愛称を条例に規定することは考えていない。

しかしながら、その名称は、市民に親しまれ、愛称として定着していると考えられることから、八代市公民館の施設をパトリア千丁と呼称していただいても差し支えないと考えている。



橋本 貴喜



動画配信

◆八代産豊表のPR事業について

問 豊の消費量は年々減少している。新築では豊のない家、リフォームでは和室から洋室への変更といったように豊離れが進んでいる。このままでは、日本の伝統文化である豊、それを支える八代産のイグサが失われてしまう可能性がある。

答 そのような中、振動豊を八代市と企業・関係団体で構成する八代産豊表認知向上・需要拡大推進協議会が開発を行った。そこで、協議会が発足からこれまで実施してきたPR事業と今後の展開について伺う。

答 農林水産部長

八代産豊表認知向上・需要拡大推進協議会で、令和元年度に、豊に関する意識調査を実施した。令和二年度、子育て世代を対象に専門誌へ豊の特集記事を掲載した。

また、「世界中で人気のゲームソフト内に「やつしろたたみ島」を制作した。

さらに、豊の上で実践できるヨガのストリート百ポーズを考案し、東京都渋谷駅での大型広告を展開した。

令和三年度、新しい「びろ寝」体験を提供する振動豊を開発し、イベントに参加するなどPRを実施した。

今後とも、多くの世代に豊の良さを感じてもらうために広くPR活動に取り組んでいく。



金子 昌平



動画配信

◆切れ目のない子育て支援に関するデジタル技術の活用について

問 本市では、中村市長がスマートシティ八代の推進を基本政策に掲げられ、「デジタル基本推進計画」を策定された。本計画を基軸とした、子育て支援に関するデジタル化の取組は、保育システムの導入により業務負担の軽減や保育所入所の申請手続の簡素化等、保育士・保護者双方にある課題解決策が着々と進んでいる。

一方、より負担を求められる障がい児における行政手続もデジタル技術の活用により、保護者の負担軽減はできないのか伺う。

答 健康福祉部長

障がい者手帳を申請する場合、写真や診断書が必要なため、窓口への持参または郵送による提出としている。

手帳の交付までは、約二カ月の期間を要し、最低でも二回の来庁が必要であり、保護者や児童に対して、お手数をおかけしている状況である。

本市では、行政手続の利便性の向上等に向け、全庁的にデジタル化を推進しており、一例として、障がい者割引を受ける際にスマートフォンでの活用による利便性の向上を図っている。

今後、保護者や児童の身体的、精神的負担の軽減につながるよう、各種手続のデジタル技術の導入に向けて取り組んでいく。



橋本 徳一郎



動画配信

◆本市におけるSDGsの取組について

問 SDGsの十七項目にはエネルギー問題があり、本市のエネルギー政策として真のゼロカーボンを目指すべきである。

木質バイオマス発電は、大気中CO₂濃度上昇にカウントしないカーボンニュートラルとされるが、実質的にはCO₂濃度を上昇させ、森林バイオマスはカーボンニュートラルではないとする文献もある。

今後は炭素を燃やす発電はやめ、本市の豊富な水資源を使い小水力発電を実施するべきと考える。小水力発電に対する市の考えについて伺う。

答 市民環境部長

小水力発電は、太陽光発電などと比較して、昼夜を問わず、年間を通じ、一定量の電力を安定的に供給することができるなどの特徴がある。一方で、水利用に関する調整など、導入する上で課題もある。

本市としては、「二〇五〇年カーボンニュートラル」の実現に向けて、再生可能エネルギーを最大限導入することが必要であると考えていることから、豊富な水資源を有する本市の地域特性を生かし、小水力発電を導入していくことは、地域の脱炭素化に有効であると認識している。



堀口 晃



動画配信

◆平常時及び災害時におけるペットの救護対策に対する本市の対応について

問 平成二十八年四月の熊本地震や令和二年七月豪雨災害等、近年想定外の災害が立て続けに起きている。新型コロナウイルス感染症も一つの災害と考える。

本市には、災害時市民の安心安全を考えた地域防災計画がある。

本市では、犬や猫等のペットを飼っている世帯が多く見受けられる。災害時にペットと一緒に避難場所を過ごしたいと要望する市民の声がある。

災害時にペットとの同行避難に関するマニュアルの作成が必要だと考えるが本市の考えを問う。

答 総務企画部長

本市地域防災計画の中では、「必要に応じ、避難生活が長期にわたる場合においては、避難所における家庭動物のためのスペースの確保に努めるものとする」としており、基本的に屋外に限定して同行避難を受け入れている。また、地域防災計画に基づく「避難所等開設・運営マニュアル」において、飼い主の管理責任に加え、ペットの居室内への入室禁止や屋外での放し飼いの禁止などを定めている。

なお、施設管理者や他の避難者の同意の下、充分なペット用の避難スペースが確保できる場合は、例外的にケージなどを利用した屋内での対応も可能としている。



野崎 伸也



動画配信

◆免許証返納特典の充実による高齢者ドライバー事故の撲滅について

問 免許返納や返納特典申請には、警察やバス会社へ出向く等、手続が煩雑であきらめる人も多い。そこで市役所にてワンストップサービスで手続できないか市の見解を問う。

また、法改正による免許更新の厳格化により免許を失効される方、いわゆる交通弱者の増加が予測されている。

そこで免許返納者への特典や免許を失効した方に限定したものではなく、すべての高齢者の方に対してのタクシー券配布を要望するが、市の考えを問う。

答 総務企画部長

免許証返納手続きの際、八代警察署では乗合タクシー運賃の半額割引に関するチラシの配付を行っていただいております。連携した取組を進めている。運転免許証の自主返納の促進と、その手続に係る負担の軽減を図るため、関係機関と必要な検討を進め、さらなる連携に努めていく。

また、高齢者等の移動ニーズに応じた支援策については、タクシーを含む公共交通の利用促進を図る観点からも重要であると考えており、関係団体との連携を図りながら、必要な支援策の検討を進めていく。



堀 徹男



動画配信

◆資源物回収の現状について

問 資源物の分別回収は、完全施行から二年経過し、市民の協力もあり、しっかりと定着していると思う。

しかしながら、ごく一部ではいまだ分別のできぬまま排出されている。資源物に生ごみが、可燃物に空き缶が入られるなど、適正な排出に御協力いただけない現状がある。

市政協力員や町内会など、現場で対応に苦慮されている方のためにも、現状よりさらに一歩踏み込んだ何らかの対策が必要だと思うが、現在の取組状況について伺う。

答 市民環境部長

集積所における資源物の持ち去りや不適正排出については、これまで市政協力員などから相談の声が寄せられており、その中には、対策強化に関する御意見もあった。

このことから、令和二年度から「第五次八代市ごみ問題等対策検討会」において、資源物の持ち去りや集積所への不適正排出についての検討を行っていただいた。

今年三月に、この件に関する提言書が提出されたことを受けて、現在、対策について関係機関との協議を行っているところである。



谷口 徹



動画配信

◆本市の公共交通について

問 本市の公共交通は、路線バスの運行の見直しや、乗合タクシーの導入など、利用者の利便性を追求した対策を講じてきたと認識している。

しかし、坂本町の住民から「市街地への通学や通院が非常に不便」との声を聞く。坂本町の公共交通の現状と課題について問う。また、本市の中山間地域における公共交通の、今後の方向性等についても問う。

答 総務企画部長

坂本町においては、道路網の復旧に合わせ、路線バスや乗合タクシーについても全便で運行を再開している。

今後公共交通の周知啓発を図るとともに、地元の皆様の声をいただきながら、ダイヤの見直し等を行い、移動に係る利便性が確保できるよう、復旧・復興の段階に応じた公共交通サービスの提供に努めていく。

また、中山間地域においては乗合タクシーなどが運行されているが、人口減少に伴い利用者数も減少している。

このような状況を踏まえ、公共交通の持続可能性を高めるため、新たな公共交通サービスの導入を視野に入れた検討を進めていく。

委員長報告

令和2年7月豪雨に関する特別委員会

付託されました予算案一件については次のとおりです。

- ・議案第四十六号 令和四年度八代市一般会計補正予算・第三号（関係分）
- の一件については、慎重に審査した結果、全会一致で、原案のとおり可決しました。

文教福祉委員会

付託されました予算案二件、条例案一件及び事件二件については次のとおりです。

- ・議案第四十六号 令和四年度八代市一般会計補正予算・第三号（関係分）
- ・議案第五十八号 八代市介護保険条例の一部改正について
- ・議案第五十九号 令和四年度八代市一般会計補正予算・第四号（関係分）
- の三件については、慎重に審査した結果、全会一致で、原案のとおり可決しました。

- 次に
- ・議案第四十九号 八代市国民健康保険条例の一部を改正する条例に係る専決処分の報告及びその承認について
- ・議案第五十一号 令和四年度八代市一般会計補正予算・第二号（関係分）に係る専決処分の報告及びその承認について

の二件については、慎重に審査した結果、全会一致で、承認しました。

建設環境委員会

付託されました予算案一件及び条例案一件については次のとおりです。

- ・議案第四十六号 令和四年度八代市一般会計補正予算・第三号（関係分）
- ・議案第五十六号 八代市特定公共賃貸住宅条例の一部改正について
- ・議案第五十七号 八代市営住宅整備基準に関する条例の一部改正について
- の三件については、慎重に審査した結果、全会一致で、原案のとおり可決しました。

経済企業委員会

付託されました予算案二件及び事件一件については次のとおりです。

- ・議案第四十六号 令和四年度八代市一般会計補正予算・第三号（関係分）
- ・議案第五十九号 令和四年度八代市一般会計補正予算・第四号（関係分）
- の二件については、慎重に審査した結果、全会一致で、原案のとおり可決しました。

- 次に
- ・議案第四十七号 令和三年度八代市一般会計補正予算・第十四号（関係分）に係る専決処分の報告及びその承認について
- の一件については、慎重に審査した結果、全会一致で、承認しました。

- 付託されました予算案一件、条例案三件、事件五件及び陳情一件については次のとおりです。
- ・ 議案第四十六号・令和四年度八代市一般会計補正予算・第三号（関係分）
 - ・ 議案第五十三号・八代市消防団員の定員、任用、服務等に関する条例の一部改正について
 - ・ 議案第五十四号・八代市過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正について
 - ・ 議案第五十五号・八代市部落差別等撤廃・人権擁護に関する条例の一部改正について
 - ・ 議案第五十九号・令和四年度八代市一般会計補正予算・第四号（関係分）
- の五件については、慎重に審査した結果、全会一致で、原案のとおり可決しました。
- 次に、
- ・ 議案第四十七号・令和三年度八代市一般会計補正予算・第十四号（関係分）に係る専決処分の報告及びその承認について
 - ・ 議案第四十八号・八代市市税条例等の一部を改正する条例に係る専決処分の報告及びその承認について
 - ・ 議案第五十号・財産の無償譲渡に係る専決処分の報告及びその承認について
 - ・ 議案第五十一号・令和四年度八代市一般会計補正予算・第二号（関係分）に係る専決処分の報告及びその承認について
 - ・ 議案第五十二号・熊本県市町村総合事務組合規約の一部変更について
- の五件については、慎重に審査した結果、全会一致で、原案のとおり承認及び可決しました。
- 次に、
- ・ 令和三年陳情第三号・地方たばこ税を活用した分煙環境整備について
- の一件については、賛成多数をもって採択されました。

事務局からのお知らせ

facebookを活用した八代市議会の情報発信について

本市議会といたしましては、八代市議会に関する情報発信の充実を図るため、facebookを活用して、議会内の活動及び情報等の発信を行っています。

発信の内容については、下記のとおりです。

積極的に発信したいと考えておりますので、どうぞご覧ください。



- | | |
|---|--------------------------------|
| 1 | 正副議長の公務に関すること |
| 2 | 常任委員会、議会運営委員会 及び特別委員会の活動に関すること |
| 3 | 議会広報委員会の活動に関すること |
| 4 | 市議会だよりに関すること |
| 5 | 傍聴に関すること |
| 6 | 他市からの行政視察受入に関すること |
| 7 | 議会の事務連絡に関すること |

本会議場における一般傍聴者へ向けた デジタル化による受付の開始について

本市におきましては、デジタル化の推進を目指しており、本市議会においても、本会議場を傍聴される市民の皆様方の入場受付のデジタル化を開始しております。傍聴席入口に設置するQRコードを各自のスマートフォン等で読み込むことで、専用の入力画面が表示され、回答箇所に入力することで入場することが可能となります。傍聴を希望される方は御利用ください。

なお、スマートフォン等をお持ちでない方につきましては、これまでどおり用紙に御記入いただき専用の箱に投函後、入場することができます。

山本敬晃君に対する懲罰動議

6月定例会における質疑・一般質問の通告において、各派代表者会で決定され、さらには、当該議員も出席していた全員協議会において、全議員へ周知及び承認された事項について執行部に答弁を求めるという前代未聞の通告がなされました。

そこで、本件については、6月13日に急遽、各派代表者会及び議会運営委員会が開催され、本件について、両会議体としては、当該議員の質問内容について、市議会としては何ら制限するものではなく、当該議員の意思・判断に委ねるとの決定がなされました。

そのような中、山本敬晃君は、6月14日の質疑・一般質問中の発言において、あたかも今回の質疑・一般質問に対して市議会内部から制限または圧力をかけられたとも取れる発言があり、この発言は事実無根であり、市議会組織全体を軽視するとともに、市議会全体の決定事項を愚弄したことは、議会人として断じて許すことはできず、地方自治法第132条（言論の品位）並びに八代市議会会議規則第151条（品位の尊重）に抵触しているとの理由から、6月15日に山本敬晃議員に対する懲罰動議が提出されました。

そこで、本動議を採決した結果、賛成多数により可決され、同日付けで本件に関する懲罰特別委員会が設置されました。

その後、本特別委員会で審査が行われ、当該議員の言動は懲罰に値すると判断され、陳謝の懲罰を科すことが賛成多数により決定されました。

これを受け、6月定例会最終日（6月27日）の本会議において、本特別委員会の委員長報告後、討論・採決が行われた結果、賛成多数により陳謝を科すことが決定しました。

しかしながら、同日、本会議の議決事項である陳謝に対し、当該議員は、陳謝文の朗読を拒否されました。

山本敬晃君に対する議員辞職勧告決議

6月定例会最終日（6月27日）の本会議における懲罰議決事項を否定したこと。さらに、6月23日に開催された懲罰特別委員会中の当該議員の弁明で、当該議員が質疑・一般質問において、本来、議場で行われる質疑・一般質問の趣旨に反した行為を行おうとしたことが判明したことから、山本敬晃議員に対して、議員辞職勧告決議が提出され、採決した結果、賛成多数により可決されました。

議員発議

◆令和4年6月定例会において、議員発議による規則改正案が1件提出され、原案のとおり可決しました。

◎八代市議会傍聴規則の一部を改正する規則案（発議案第4号）

（改正の主旨）本会議における一般傍聴者に向けたデジタル化による受付の運用及び新庁舎議場における親子傍聴席の使用に伴い、規定の整備を図る必要があるため。

◆令和4年6月定例会において、議員発議による意見書案が4件提出され、そのうち2件を原案のとおり可決しました。

<原案のとおり可決>

◎肥料高騰対策に関する意見書案（発議案第5号）

◎地方たばこ税を活用した分煙環境整備に関する意見書案（発議案第6号）

<否決>

◎国民生活を守り抜くための物価高騰対策を求める意見書案（発議案第7号）

◎教育予算の増額及び負担軽減措置等の拡充を求める意見書案（発議案第8号）

令和4年6月定例会採決結果

〔全会一致で可決した議案〕

議案番号	議案名	議案番号	議案名
議案第46号	令和4年度八代市一般会計補正予算・第3号	議案第56号	八代市特定公共賃貸住宅条例の一部改正について
議案第47号	専決処分の報告及びその承認について (令和3年度八代市一般会計補正予算・第14号)	議案第57号	八代市営住宅等整備基準に関する条例の一部改正について
議案第48号	専決処分の報告及びその承認について (八代市市税条例等の一部を改正する条例)	議案第58号	八代市介護保険条例の一部改正について
議案第49号	専決処分の報告及びその承認について (八代市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	議案第59号	令和4年度八代市一般会計補正予算・第4号
議案第50号	専決処分の報告及びその承認について (財産の無償譲渡について)	議案第60号	人権擁護委員候補者の推薦について
議案第51号	専決処分の報告及びその承認について (令和4年度八代市一般会計補正予算・第2号)	陳情第3号	地方たばこ税を活用した分煙環境整備について
議案第52号	熊本県市町村総合事務組合規約の一部変更について	発議案第4号	八代市議会傍聴規則の一部を改正する規則案
議案第53号	八代市消防団員の定員、任用、服務等に関する条例の一部改正について	発議案第5号	肥料高騰対策に関する意見書案
議案第54号	八代市過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正について	発議案第6号	地方たばこ税を活用した分煙環境整備に関する意見書案
議案第55号	八代市部落差別等撤廃・人権擁護に関する条例の一部改正について		

〔賛成多数により可決した議案〕

議案番号	議案名	成松由紀夫	村川清則	田方芳信	増田一喜	橋本貴喜	友枝和也	百田隆	上村哲三	木村博幸	前川祥子	橋本幸一	金子昌平	高山正夫	古嶋津義	北園武広	谷川登	中村和美	堀徹男	橋本隆一	太田広則	橋本徳一郎	中山諭扶哉	堀口晃	山本幸廣	山本敬晃	谷口徹	野崎伸也	大倉裕一	
	山本敬晃君に対する懲罰の件 (令和4年6月15日)	-	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	除	×	×	×
	山本敬晃君に対する懲罰の件 (令和4年6月27日)	-	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	除	×	×	×
	山本敬晃君に対する議員辞職勧告決議案の件 (令和4年6月27日)	-	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	除	×	×	×

○=賛成 ×=反対 -=欠席者 除=除斥(規定により採決に加われない) ※成松 由紀夫議員は議長のため採決には加わっておりません

〔賛成少数により否決した議案〕

議案番号	議案名	成松由紀夫	村川清則	田方芳信	増田一喜	橋本貴喜	友枝和也	百田隆	上村哲三	木村博幸	前川祥子	橋本幸一	金子昌平	高山正夫	古嶋津義	北園武広	谷川登	中村和美	堀徹男	橋本隆一	太田広則	橋本徳一郎	中山諭扶哉	堀口晃	山本幸廣	山本敬晃	谷口徹	野崎伸也	大倉裕一
発議案第7号	国民生活を守り抜くための物価高騰対策を求める意見書案	-	×	×	×	×	×	×	×	×	-	×	×	×	×	-	×	×	-	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
発議案第8号	教育予算の増額及び負担軽減措置等の拡充を求める意見書案	-	×	×	×	×	×	×	×	×	-	×	×	×	×	-	×	×	-	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○

○=賛成 ×=反対 -=欠席者 除=除斥(規定により採決に加われない) ※成松 由紀夫議員は議長のため採決には加わっておりません

全国市議会議長会

永年勤続議員表彰

去る5月25日に開催された令和4年度 全国市議会議長会第98回定期総会において、永年勤続表彰が行われ、本市議会からは3人の議員が表彰を受けたことから、6月定例会において表彰状が伝達されました。



堀口 晃 議員
(15年以上)

上村 哲三 議員
(20年以上)

山本 幸廣 議員
(30年以上)

※写真撮影時のみマスクを外しています。

編集後記

盛夏の候、市民の皆さまはいかがお過ごしでしょうか。今年は梅雨明けが早かったため、例年より長い夏となっております。熱中症などにお気をつけください。

さて、令和二年七月豪雨から二年余が経過しました。七月三日には、県と共催の追悼式が坂本中学校で開催され、御遺族をはじめ出席者が哀悼の意を捧げ、一般参列者による献花も行われました。

しばらくするとお盆がやってきます。帰省の方も多いでしょう。故郷はやっばりいい、と思っただけのよう、ここで暮らす私たちは、一緒に手を携えて、復興と発展を進めていきましょう。



八代市議会広報委員会

◎本紙に関する御意見・御要望はこちらまで TEL 32-5984・FAX 33-4440
市役所ホームページアドレス <http://www.city.yatsushiro.lg.jp/>

